

第4章 策定手続き等

(審議会への諮問)

第10条 市長は、次の各号に掲げるときは、あらかじめ、第14条に規定する亀山市総合計画審議会に諮問するものとする。

- (1) 基本構想又は基本計画を策定しようとするとき。
- (2) 基本構想又は基本計画を変更し、又は廃止しようとする場合において特に必要があると認めるとき。

(議会の議決)

第11条 市長は、基本構想を策定し、変更し、又は廃止しようとするときは、議会の議決を経なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りではない。

(総合計画の公表)

第12条 市長は、総合計画を策定し、変更し、又は廃止したときは、速やかにこれを公表するものとする。

(策定後の措置)

第13条 市長は、総合計画を計画的に実施するために必要な措置を講ずるものとする。

2 市長は、総合計画の実施状況について公表するものとする。

第5章 総合計画審議会

(設置)

第14条 第10条の規定による諮問に応じ調査審議するため、亀山市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第15条 審議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等の代表者
- (2) 知識経験を有する者
- (3) 公募により選出された者
- (4) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、その者の調査審議に係る亀山市総合計画の決定の日までとする。

第6章 雑則

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(亀山市総合計画審議会条例の廃止)

2 亀山市総合計画審議会条例(平成17年亀山市条例第17号)は、廃止する。

前期基本計画・基本施策別成果指標一覧

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
用途指定地域内の宅地面積 (ha)	土地利用が効率的に行われている状況を把握するため設定する。	674.9	平成27年度末現在	682.0	平成33年度末現在	近年の土地利用状況を踏まえ、適切な誘導等を行うことにより、用途指定地域内の宅地面積を毎年1.2ha増加させることを目指す。	都市計画室調べ
市街地再開発事業等が行われた件数 (件)	市街地の再開発が行われ活性化している状況を把握するため設定する。	—	—	2	平成33年度末現在	JR亀山駅前再開発を進めることにより、2件の市街地再開発事業が行われることを目指す。	都市計画室調べ
公園等環境美化ボランティア活動団体数 (団体)	市民が安全で快適な都市空間を確保する取り組み状況を把握するため設定する。	19	平成28年9月末日現在	24	平成33年度末現在	積極的な啓発等を行い、毎年1団体の増加を目指す。	都市計画室調べ
あんしん賃貸住宅、高齢者向け賃貸住宅等の登録戸数 (戸)	住宅セーフティネットが確保されている状況を把握するため設定する。	4	平成28年9月末日現在	30	平成33年度末現在	関係機関と連携した取り組みを行うことにより、高齢者や障がい者に配慮された賃貸住宅の年間5件程度の増加を目指す。	営繕住宅室調べ
条例に基づく空き家の管理指導に対する是正割合 (%)	空き家が適正に管理され、住環境が良好に保たれている状況を把握するため設定する。	—	—	100	平成33年度末現在	亀山市空家等対策の推進に関する条例に基づく適正指導により、生活環境に悪影響を及ぼす全ての空家等が是正されることを目指す。	営繕住宅室調べ
空き家情報バンクの契約成立件数(累計) (件)	空き家を活用した定住状況を把握するため設定する。	8	平成28年9月末日現在	30	平成33年度末現在	空き家情報バンクの積極的な運用により、年間4件程度の契約成立を目指す。	営繕住宅室調べ
上水道の有収率 (北中勢水道を除く) (%)	安定した水道事業が進められている状況を把握するため設定する。	89.2	平成27年度	92.6	平成33年度	5年間で約3ポイント増加させることを目指す。	上水道室調べ
汚水処理人口普及率 (%)	生活排水処理が適切に行われている状況を把握するため設定する。	86.2	平成27年度末現在	90.0	平成33年度末現在	生活排水処理アクションプログラムの目標値を参考に設定。	環境保全室調べ
水道事業会計の経常収支比率 (%)	水道事業会計が健全に運営されている状況を把握するため設定する。	109.07	平成27年度	110.00	平成33年度	一定の収益を確保し、施設の建設、改良、再構築を可能とする財政基盤を目指す。	上水道室調べ
公共下水道事業会計の経常収支比率 (%)	公共下水道会計が健全に運営されている状況を把握するため設定する。	103.19	平成27年度	100.00	平成33年度	整備中である公共下水道事業の状況等を鑑み、経常損益が生じない会計運営を目指す。	下水道室調べ
都市計画道路の整備率 (%)	市内の道路網が確保された状況を把握するため設定する。	58.1	平成27年度末現在	70.0	平成33年度末現在	5年間で総延長2.5kmの市道を改良することを目指す。	都市計画室調べ
市道の改良延長 (km)	生活道路が改善された状況を把握するため設定する。	—	—	2.5	平成33年度末現在	厳しい経済状況の中でも、現状と同等の事業規模において道路改良を進めることを目指す。	道路整備室調べ
橋梁の耐震化率 (%)	安全かつ適正に管理されている橋梁の状況を把握するため設定する。	45.5	平成27年度末現在	50.0	平成33年度末現在	年間1橋梁の耐震化を進め、道路交通者の安全を確保することを目指す。	維持修繕室調べ
道路環境美化ボランティア活動団体数 (団体)	地域に密着した安全な道路環境が確保されている状況を把握するため設定する。	9	平成28年9月末日現在	14	平成33年度末現在	積極的な啓発等を行い、毎年1団体の増加を目指す。	維持修繕室調べ
市内JR駅の乗車人員 (1日平均) (人)	市民生活に必要な公共交通が確保されている状況を把握するため設定する。	3,402	平成26年度	3,400	平成33年度	減少傾向にあるJRの旅客乗車人員を利用促進に取り組むことで、現状維持を目指す。	三重県統計書
市コミュニティ系バス及び乗合タクシーの利用者数 (人)	市民生活に必要な公共交通が確保されている状況を把握するため設定する。	99,645	平成27年度	102,000	平成33年度	効果的な市コミュニティ系バスの再編と乗合タクシーの運行により、合計で2,000人の利用者増加を目指す。	商工業振興室調べ
自主防災組織結成率 (%)	地域における防災活動に取り組む体制が整っている状況を把握するため設定する。	83.8	平成27年度末現在	100.0	平成33年度末現在	市民の防災意識の向上や結成支援により、自主防災組織結成率100%を目指す。	危機管理室調べ
木造住宅の耐震化率 (%)	地域の耐災害性が確保されている状況を把握するため設定する。	84.9	平成28年度末現在	91.2	平成33年度末現在	亀山市耐震改修促進計画を参考に目標値を設定。	危機管理室調べ

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
火災出動に関する平均所要時間 (覚知から放水開始まで) (分/秒)	火災に対する適正な消防力が確保されている状況を把握するため設定する。	12'53"	平成27年度	12'00"	平成33年度	所要時間の始点を従来の「出動指令」から「覚知」に変更するとともに、消防施設の充実や人材育成等により、火災出動に要する所要時間を12分に短縮することを目指す。	消防救急室調べ
救急出動に関する平均所要時間 (覚知から病院収容まで) (分/秒)	救急に対する適正な消防力が確保されている状況を把握するため設定する。	39'55"	平成27年度	37'00"	平成33年度	所要時間の始点を従来の「出動指令」から「覚知」に変更するとともに、救急救命士の養成による救急体制の強化や医療機関等との連携により、救急出動に要する所要時間を37分に短縮することを目指す。	消防救急室調べ
交通事故死傷者数 (人)	市民が安全に暮らしている状況を把握するため設定する。	211	平成27年	200以下	平成33年	亀山市交通安全計画の目標値を参考に設定。	三重の交通統計
地球温暖化防止対策に関するイベント等への参加者数 (人)	市民が地球温暖化防止対策を理解し、取り組んでいる状況を把握するため設定する。	1,288	平成27年度	1,500	平成33年度	地球温暖化防止対策を推進し、5年間で20%の参加者数を増加させることを目指す。	環境保全部調べ
ごみの資源化率 (%)	市民が循環型社会の形成に取り組む状況を把握するため設定する。	37.0	平成27年度	42.2	平成33年度	亀山市一般廃棄物処理基本計画の目標値を参考に目標を設定。	廃棄物対策室調べ
1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日)	市民が循環型社会の形成に取り組む状況を把握するため設定する。	995	平成27年度	919	平成33年度	亀山市一般廃棄物処理基本計画の目標値を参考に目標を設定。	廃棄物対策室調べ
自然公園の利用者数 (人)	自然に親しめる環境が確保されている状況を把握するため設定する。	13,717	平成27年度	20,000	平成33年度	市民の環境意識の高揚を図り、亀山里山公園と亀山森林公園を併せ、延べ20,000人に利用してもらうことを目指す。	環境保全部・森林林業室調べ
環境林整備面積 (ha)	森林環境が保全されている状況を把握するため設定する。	1,187	平成27年度末現在	1,700	平成33年度末現在	過去の実績を踏まえ、年間100haの森林整備を目指す。	森林林業室調べ
東海道沿道における文化財公開施設年間見学者数 (人)	東海道沿道の歴史資源を活用したまちづくりが行われている状況を把握するため設定する。	54,082	平成27年度	67,500	平成33年度	歴史的な風致を生かしたまちづくりを進めることで、既存施設の入館者数が5%増加すること、および関の山車会館の開館および旧佐野家住宅の公開による増加を目標に設定。	まちなみ文化財室調べ
伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率 (%)	関宿のまちなみ保存が進められている状況を把握するため設定する。	56.0	平成27年度末現在	60.0	平成33年度末現在	伝統的建造物群保存地区である関宿の保存修理・修景の取り組みを進めることで、事業完了率を60%とすることを目標に設定。	まちなみ文化財室調べ
国・県・市の指定等を受ける文化財の数 (件)	歴史文化の継承が行なわれている状況を把握するため設定する。	132	平成27年度末現在	135	平成33年度末現在	文化財の適切な保存に努めることで、鈴鹿関を代表として国等の指定を受ける文化財数が3件増加することを目標に設定。	まちなみ文化財室調べ
歴史博物館の利用者数 (人)	歴史文化を学び、地域で活用されている状況を把握するため設定する。	11,561	平成27年度	13,000	平成33年度	地域・学校と連携した歴史博物館の活用の取り組みが展開されることにより、歴史博物館の利用者が15%増加することを目標に設定。(博物館入館者数、出前授業、移動展示、出前トークの総数)	歴史博物館調べ
亀山市ボランティアセンターの登録者数 (人)	地域での支え合いの環境が整っている状況を把握するため設定する。	751	平成27年度末現在	900	平成33年度末現在	現行の亀山市地域福祉計画の目標値と現状値を参考に目標を設定。	地域福祉室調べ
ふれあい・いきいきサロン活動及び子育てサロンの設置団体数 (団体)	地域での支え合いの環境が整っている状況を把握するため設定する。	60	平成27年度末現在	110	平成33年度末現在	今後、サロンの新設などを支援することにより、地域での支え合い体制を充実させていくという考え方に沿って、目標値を設定。	地域福祉室調べ
生活保護世帯で就労能力・意欲のある者が就労・増収となった世帯の割合 (%)	自立支援に向けた取り組みが行われている状況を把握するため設定する。	50.0	平成27年度末現在	50.0以上	平成33年度末現在	現状の水準以上に自立支援を行うことを目標に設定。	地域福祉室調べ

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
		数値	年度	数値	年度		
がん検診の受診率 (肺がん) (%)	市民の身体的な健康状態を把握するため設定する。	33.2	平成27年度	35.0	平成33年度	現状の受診率を踏まえ、ライフステージに応じた情報提供等を行うことで、受診率を1.06倍向上させることを目標に設定。	長寿健康づくり室調べ
がん検診の受診率 (胃がん) (%)	市民の身体的な健康状態を把握するため設定する。	21.8	平成27年度	25.0	平成33年度	現状の受診率を踏まえ、ライフステージに応じた情報提供等を行うことで、受診率を1.15倍向上させることを目標に設定。	長寿健康づくり室調べ
がん検診の受診率 (大腸がん) (%)	市民の身体的な健康状態を把握するため設定する。	32.9	平成27年度	35.0	平成33年度	現状の受診率を踏まえ、ライフステージに応じた情報提供等を行うことで、受診率を1.07倍向上させることを目標に設定。	長寿健康づくり室調べ
医業収支比率 (%)	医療センターの事業運営状況を把握するため設定する。	77.6	平成27年度	99.8	平成33年度	今後策定予定の亀山市健康・医療推進計画の目標値を参考に、目標を設定。	医事管理室調べ
救急搬送の市内医療機関受入率 (%)	地域医療の体制が確保されている状況を把握するため設定する。	50.2	平成27年度	50以上	平成33年度	地域医療提供体制の構築に取り組むことで、現状値の救急搬送の市内医療機関での受入率を維持することを目標に設定。	消防救急室調べ
国民健康保険被保険者1人当たり医療費の増加率(対前年度) (%)	国民健康保険事業の運営状況を把握するため設定する。	4.1	平成27年度	4.0以下	平成33年度	平成23年度から27年度までの医療費の平均増加率3%に、高齢化による医療費増1%を加味して、目標値を設定。	保険年金室調べ
在宅医療を実施する市内医療機関数 (機関)	高齢者が安心して暮らせる環境が整っている状況を把握するため設定する。	9	平成27年度末現在	15	平成33年度末現在	現状値のホームケアネット関係機関に加えて、内科標榜医療機関の80%が在宅医療を実施することを目標に設定。	長寿健康づくり室調べ
総合事業で高齢者に通いの場を提供する地域の団体等の数 (団体)	高齢者が安心して暮らせる環境が整っている状況を把握するため設定する。	—	平成27年度	30	平成33年度末現在	平成29年度から開始する総合事業において、一般介護予防事業介護予防普及啓発事業(鈴鹿亀山共通事業)における地域での取り組み実施団体数を目標に設定。	長寿健康づくり室調べ
認知症初期集中支援チームの高齢者及びその家族への支援件数 (件)	高齢者が安心して暮らせる環境が整っている状況を把握するため設定する。	1	平成27年度	12	平成33年度	現状値を踏まえ、認知症初期集中支援チームによる支援が1カ月当たり1件できるよう目標を設定。	長寿健康づくり室調べ
就労移行支援の利用者数 (人)	障がいのある人が支援やサービスを受けられる環境が整っている状況を把握するため設定する。	18	平成27年度	25	平成33年度	現在の利用状況や今後の利用見込みから推測して、目標値を設定。	地域福祉室調べ
グループホームの利用者数 (人)	障がいのある人が支援やサービスを受けられる環境が整っている状況を把握するため設定する。	29	平成27年度	45	平成33年度	現在の利用状況や今後の利用見込みから推測して、目標値を設定。	地域福祉室調べ
市立図書館の入館者数 (人)	生涯学習の拠点である図書館の利用状況を見ることで、読書活動の状況を把握するため設定する。	104,474	平成27年度	120,000	平成33年度	5年間で15%の利用者を増加させることを目指す。	図書館調べ
生涯学習講座の受講者数 (人)	生涯学習講座の受講者数を見ることで、幅広い市民の学びの活動状況を把握するため設定する。	25,320	平成27年度	27,850	平成33年度	5年間で10%の講座受講者を増加させることを目指す。	生涯学習室調べ
生涯学習人材バンクを活用した講座開催数 (回)	生涯学習講座等を通じた育成された人材を活用し、市民の主体的な学びの状況を把握するため設定する。	14	平成27年度	17	平成33年度	5年間で20%の講座開催を増加させることを目指す。	生涯学習室調べ
亀山市芸術文化協会の団体数 (団体)	市民が文化芸術に親しみを持っている状況を把握するため設定する。	47	平成27年度末現在	50	平成33年度末現在	文化芸術活動の活性化に取り組むことにより、芸術文化協会に、会員10名程度が所属する団体が3団体新たに加盟することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
亀山市芸術文化協会の会員数 (人)	市民が文化芸術に親しみを持っている状況を把握するため設定する。	728	平成27年度末現在	750	平成33年度末現在	文化芸術活動の活性化に取り組むことにより、芸術文化協会に、会員10名程度が所属する団体が3団体新たに加盟することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
		数値	年度	数値	年度		
文化会館自主文化事業にかかる入場者数(人)	市民が文化芸術に親しみを持っている状況を把握するため設定する。	16,746	平成27年度	17,600	平成33年度	市民の文化芸術活動の利便性を高めることで、文化会館の自主文化事業の年間入場者が5%増加することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
市主催等の公募展への出演・出展者数(人)	市民が文化芸術に親しみを持っている状況を把握するため設定する。	2,341	平成27年度	2,500	平成33年度	市民や団体が積極的に文化芸術活動に関わる交流を進めることで、公募展への出演・出展者数を現状より5%増加することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数(人)	市民がそれぞれの状況に応じてスポーツに取り組んでいる状況を把握するため設定する。	19,900	平成27年度	21,000	平成33年度	市民が積極的にスポーツ活動に関わる機会を提供することで、教室や大会等への参加者数を現状より5%増加することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
市内の主な運動施設の利用率(%)	市民がそれぞれの状況に応じてスポーツに取り組んでいる状況を把握するため設定する。	72.0	平成27年度	78.0	平成33年度	市民が快適にスポーツに取り組めるよう、施設の利便性の向上を図ることで、主な運動施設の利用率を現状より毎年度1%増加させることを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
スポーツ関連団体の構成者数(人)	市民がそれぞれの状況に応じてスポーツに取り組んでいる状況を把握するため設定する。	4,754	平成27年度末現在	5,000	平成33年度末現在	スポーツに関する情報提供や指導者の育成等により、スポーツ関連団体の構成者数を現状より5%増加することを目標に設定。	文化スポーツ室調べ
企業立地・事業拡張件数(件)	製造業を中心に企業活動の状況を把握するため設定する。	—	—	10	平成33年度末現在	産業基盤が整備される背景や奨励制度の活用により、年間2件の企業立地又は事業拡張を目指す。	商工業振興室調べ
製造品出荷額等の額(億円)	製造業を中心に企業活動の状況を把握するため設定する。	10,495	平成26年	11,200	平成33年	国のGDP成長率の予測値を参考にし、目標値を設定。	工業統計調査
製造業の従業者数(人)	製造業を中心に企業活動の状況を把握するため設定する。	9,701	平成26年	10,200	平成33年	製造業の平均事業者数を参考に、5年間で500人の従業員数の増加を目指す。	工業統計調査
都市拠点における空き店舗活用件数(件)	地域に根ざした商業の取り組み状況を把握するため設定する。	—	—	5	平成33年度末現在	空き店舗の活用を促進することにより、年間1店舗の出店を目指す。	商工業振興室調べ
カメラマ創業者アシストのサポートを受けた創業件数(件)	新たな事業者が地域に根ざした事業活動に取り組む状況を把握するため設定する。	—	—	30	平成33年度末現在	関係機関と連携した創業支援により、年間6件の創業を目指す。	商工業振興室調べ
新規認定農業者及び認定新規就農者の数(人)	地域農業の維持・発展が図られている状況を把握するため設定する。	—	—	10	平成33年度末現在	地域農業の担い手の育成・確保を図ることにより、新規認定農業者や認定新規就農者を年間2名確保することを目指す。	農政室調べ
6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者数(人)	農産物の付加価値を高める取り組み状況を把握するため設定する。	10	平成27年度末現在	15	平成33年度末現在	農畜産物の付加価値向上への取り組みを支援することにより、6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者が年間1名増加することを目指す。	農政室調べ
利用間伐施業面積(ha)	林業事業者の事業活動の状況を把握するため設定する。	—	—	300	平成33年度末現在	過去の実績を踏まえ、林業事業者が年間60haの森林整備を行うことを目指す。	森林林業室調べ
主要観光施設入込客数(人)	来訪者が本市の魅力に共感し、交流している状況を把握するため設定する。	306,650	平成27年度	368,000	平成33年度	効果的な情報発信や観光地の魅力の向上を図り、20%の入込客数の増加を目指す。	観光振興室調べ
関宿内の観光関連店舗数(店舗)	観光地の商業機能が充実している状況を把握するため設定する。	22	平成28年9月末日現在	26	平成33年度末現在	関宿における出店を促進し、5年間で4店舗の増加を目指す。	観光振興室調べ
まちづくり観光に関わる団体数(団体)	地域の魅力を生かした交流が行われている状況を把握するため設定する。	89	平成28年9月末日現在	94	平成33年度末現在	まちづくり観光の人材育成や活動支援により、まちづくり観光に関わる団体が5団体増加することを目指す。	観光振興室調べ

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
リニア中央新幹線 亀山駅整備基金残高 (万円)	リニア中央新幹線の市内駅整備に向けた備えが行われている状況を把握するため設定する。	155,090	平成27年度末現在	200,000	平成33年度末現在	計画的な積み立てを行い、基金残高を20億円まで増加させることを目指す。	企画政策室調べ
コミュニティ・スクール 実施校数 (校)	学校と地域が連携し、良好な教育環境が整えられている状況を把握するため設定する。	3	平成28年 4月1日 現在	8	平成33年度末現在	毎年度1校ずつコミュニティ・スクールの認定を行うことを目指す。	教育研究室調べ
普通教室への空調 機設置率(小学校) (%)	学校生活を送る校舎の環境が良好に保たれている状況を把握するため設定する。	36.2	平成28年 9月1日 現在	100	平成33年度末現在	前期基本計画期間内において、計画的に全学校の普通教室に空調機を完備することを目指す。	教育総務室調べ
普通教室への空調 機設置率(中学校) (%)	学校生活を送る校舎の環境が良好に保たれている状況を把握するため設定する。	50.0	平成28年 9月1日 現在	100	平成33年度末現在	前期基本計画期間内において、計画的に全学校の普通教室に空調機を完備することを目指す。	教育総務室調べ
保育室への空調機 設置率(幼稚園) (%)	幼稚園生活を送る園舎の環境が良好に保たれている状況を把握するため設定する。	25.0	平成28年 9月1日 現在	100	平成33年度末現在	前期基本計画期間内において、計画的に全幼稚園の保育室に空調機を完備することを目指す。	教育総務室調べ
学校評価アンケート における授業理解度 (小学校) (%)	子どもの学習における自己肯定感を把握するため設定する。	88	平成27年度	92	平成33年度	授業における指導改善などを行うことで、児童・生徒の授業理解度を高めることを目指す。	学校アンケート調査
学校評価アンケート における授業理解度 (中学校) (%)	子どもの学習における自己肯定感を把握するため設定する。	83	平成27年度	85	平成33年度	授業における指導改善などを行うことで、児童・生徒の授業理解度を高めることを目指す。	学校アンケート調査
学校評価アンケート における学校満足度 (小学校) (%)	子どもの学校生活における自己肯定感を把握するため設定する。	91	平成27年度	92	平成33年度	学校生活環境の改善を図ることで、児童・生徒の授業理解度を高めることを目指す。	学校アンケート調査
学校評価アンケート における学校満足度 (中学校) (%)	子どもの学校生活における自己肯定感を把握するため設定する。	91	平成27年度	92	平成33年度	学校生活環境の改善を図ることで、児童・生徒の授業理解度を高めることを目指す。	学校アンケート調査
出生数 (人)	市民が安心して出産の希望を叶えている状況を把握するため設定する。	455	平成27年度	465	平成33年度	若い世代の転入促進や子育て支援を行うことで、市民の出産数の増加を目指す。	戸籍市民室調べ
子育て支援センター 利用者数 (人)	子育て支援センターを利用することで、子育てに関する人とのつながりを持っている状況を把握するため設定する。	34,932	平成27年度	37,000	平成33年度	毎年度1%の利用者数の増加を目指す。	子ども家庭室調べ
低年齢児(3歳未満児) の待機児童数 (人)	需要が増加傾向にある低年齢児の保育環境の状況を把握するため設定する。	6	平成28年 4月1日 現在	0	平成33年 4月1日 現在	保育サービスの環境を整えることで、低年齢児においても待機児童を発生させないことを目指す。	子ども家庭室調べ
地域まちづくり計画 に基づき事業を展開 する地域まちづくり 協議会の数 (協議会)	各地域の住民が地域まちづくり活動に取り組む状況を把握するため設定する。	3	平成27年 度末現在	22	平成33年 度末現在	地域まちづくり活動に対する総合的な支援により、市内すべての地域まちづくり協議会において地域まちづくり計画が策定され、その計画に基づいた事業が実施されることを目標に設定。	地域づくり支援室調べ
地域活動拠点施設 の利用者数 (人)	各地域の住民が地域まちづくり活動に取り組む状況を把握するため設定する。	142,213	平成27年度	150,000	平成33年度	地域まちづくり活動が活性化され、地域活動拠点施設の利用者数が5%増加することを目指す。	地域づくり支援室調べ
ホームページにより 情報発信している地 域まちづくり協議会 の数 (協議会)	各地域の住民が地域まちづくり活動に取り組む状況を把握するため設定する。	8	平成27年 度末現在	22	平成33年 度末現在	地域まちづくり活動に対する総合的な支援により、市内すべての地域まちづくり協議会においてホームページによる情報発信が実施されることを目標に設定。	地域づくり支援室調べ
かめやま若者未来会 議の登録者数 (累計) (人)	多様な主体がまちづくりに参画している状況を把握するため設定する。	35	平成28年 9月末日 現在	60	平成33年 度末現在	若者世代の積極的なまちづくりへの参画を促すことにより、かめやま若者未来会議に毎年5名の新規登録者が増加することを目指す。	企画政策室調べ

成果指標	設定の趣旨	現状値		目標値		目標値の設定根拠	出典
		現状値	現状値	目標値	目標値		
市ホームページのトップページアクセス数(件)	市民参画に向けて、情報通信手段を活用して市民が情報を取得している状況を把握するため設定する。	588,177	平成27年度	620,000	平成33年度	ホームページのトップ画面で市民に分かりやすい情報提供を行うことで、現状よりも5%のアクセス数の増加を目標に設定。	広報秘書室調べ
協働事業提案制度の実施件数(累計)(件)	協働によるまちづくりの取り組み状況を把握するため設定する。	22	平成28年度	27	平成33年度	近年の協働事業の実績を踏まえ、新たに協働事業で実施される件数が毎年1件は確保されることを目標に設定。	共生社会推進室調べ
移住相談後の移住件数(件)	移住交流の状況を把握するため設定する。	0	平成28年9月末日現在	30	平成33年度末現在	様々な機会を捉えて移住交流を促進することにより、5年間で30件の移住を目標に設定。	企画政策室調べ
人権啓発イベント参画団体数(団体)	人権に関する市民意識の高まりを把握するため設定する。	21	平成28年度	24	平成33年度	人権啓発を行うことで、人権啓発を目的としたイベントの実行委員会等構成団体数(実行委員数)が3団体増加することを目標に設定。	共生社会推進室調べ
審議会等における女性の登用率(%)	男女共同参画の意識の浸透と実現が図られている状況を把握するため設定する。	36.1	平成28年4月1日現在	40.0	平成33年度末現在	現状値および男女共同参画基本計画の目標値を踏まえて、現行計画の目標値である40%を目標に設定。	共生社会推進室調べ
ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う事業所数(累計)(社)	男女共同参画の意識の浸透と実現が図られている状況を把握するため設定する。	—	平成28年度	6	平成33年度	市内事業所等への働きかけを行うことで、「三重県男女がいきいきと輝いている企業」認証を取得する事業所が5年間で6社に増加することを目標に設定。	共生社会推進室調べ
日本語教室の年間延べ受講者数(人)	外国人住民の地域での暮らしに対する関心度を把握するため設定する。	648	平成27年度	700	平成33年度	近年の教室の受講者数を踏まえて、受講者数が10%増加することを目標に設定。	共生社会推進室調べ
人事評価制度における実績評価の評価点合計(管理職平均)(点)	人事評価制度において、施策や事業の実施成果を評価する実績評価の評価点のみをみることで、行政マネジメントの状況を把握するため、設定する。組織的な状況を見る観点から、全職員ではなく、管理職のみを対象とする。	81.23	平成27年度	85	平成33年度	毎年度1%程度の向上を図ることを目指し、設定。	人事情報室調べ
一人当たり有給休暇取得日数(日)	職員の有給休暇取得日数を見ることで、職員のワーク・ライフ・バランスの状況の側面を把握する観点から設定する。	8.6	平成27年度	10	平成33年度	毎年度3%程度の向上を図ることを目指し、設定。	人事情報室調べ
ストレスチェック制度における市役所全体の総合した健康リスク(点)	新たに制度化された職員のストレスの状況を把握することで、職員のメンタル面の健康状況を把握する観点から設定する。	91	平成28年度	90以下	平成33年度	現在のストレスリスクの高くない状況を維持することを目指す。100点以上がストレスリスクの高い職場の基準。	人事情報室調べ
施設の統廃合を決定した公共施設数(累計)(施設)	公共施設が効率的な管理に向けて、施設の統廃合が進んでいる状況を把握するため設定する。	—	—	3	平成33年度末現在	今後十分な検討を行いながら施設の統廃合を進め、5年間で3施設の統廃合の決定を行うことを目指す。	契約管財室調べ
オープンデータの公開データセット件数(件)	市の保有するデータを有効に活用できる状況を把握するため設定する。	0	平成28年4月1日現在	20	平成33年4月1日現在	オープンデータに積極的に取り組みを進める福井県鯖江市の公開状況を目指す。	人事情報室調べ
市税収納率(現年度)(%)	市の歳入の根幹である市税の収納状況を見ることで、財源確保の状況を把握するため設定する。	98.91	平成27年度	99.0以上	平成33年度	納税環境の充実とともに徴収体制の強化を図り、引き続き、収納率の向上を目指す。	納税室調べ
経常収支比率(%)	毎年度の財政運営の健全性をみるため設定する。	86.9	平成27年度	85以下	平成33年度	今後、不透明な経済情勢が続く中であっても、当該年度の財政運営の健全性を維持させることを目指す。	地方財政状況調査
将来負担比率(%)	長期的視点から、市の実質的な負債の負担状況を把握するため設定する。	—	平成27年度	指数無しを維持	平成33年度	今後、不透明な経済情勢が続く中であっても、長期的な視点での財政運営の健全性を維持させることを目指す。	財政行革室調べ
資金不足比率が発生した会計数(会計)	市の各会計の経営状況が、健全に行われている状況を把握するため設定する。	0	平成27年度	0	平成33年度	今後、不透明な経済情勢が続く中であっても、各会計の健全性を維持させることを目指す。	財政行革室調べ